

「暑さ対策」中学校委員会活動支援事業報告書

兼「暑さ対策」地域へ発信！中学生サポーター事業に係る報告書兼涼くまグランプリ応募用紙

<p>学校名及び 代表者名</p>	<p>熊谷市立妻沼西中学校</p>
<p>1 活動の概要 (実施した活動の概要を委員会別に記入して下さい。)</p>	<p>保健委員会</p> <p>(1)黒球付き温度計の WBGT 値を記録し、熱中症予防を呼びかける。</p> <p>(2)熱中症予防ポケットティッシュとうちわを作成。妻沼地区の4施設に設置をしていただけるよう依頼し、地域へ熱中症予防を呼びかける。</p> <p>(3)3年生全員がポケットティッシュを持ち帰り、家族や親戚に配布しながら熱中症予防を呼びかける。</p> <p>(4)北門脇のフェンス外側に熱中症予防啓発の掲示物を掲示する。</p> <p>(5)2年生対象「暑さ対策」地域へ発信！中学生サポーター事業に係る心肺蘇生法実習の運営</p> <p>その他</p> <p>各部活動にて、活動中の WBGT 値の測定・記録を実施。</p>
<p>2 活動の様子や 成果、工夫した 点</p>	<p>【活動の様子や成果】</p> <p>(1)WBGT 値の記録・熱中症指数の掲示</p> <p>黒球付き温度計の WBGT 値を記録し、保健室前のホワイトボードに掲示。WBGT 値を記録・掲示することで、暑さレベルを意識して熱中症予防を行うことができた。</p> <p>(2)熱中症予防ポケットティッシュとうちわの作成・配布</p> <p>熱中症予防ポケットティッシュとうちわを作成。妻沼地域の4施設に設置をしていただけるよう依頼し、地域へ熱中症予防を呼びかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健委員会3年生で熱中症予防のイラストとキャッチコピーを作成。</li> <li>・イラストとキャッチコピーをプリントしたシールを、ポケットティッシュとうちわに貼り付ける作業を保健委員会3年生が行った。</li> </ul> <div data-bbox="454 1406 754 1630">  <p>作業風景</p> </div> <div data-bbox="778 1406 1026 1630">  </div> <div data-bbox="1042 1406 1469 1630">  </div> <p>・地域の方々への熱中症予防啓発として、7月14日(木)、15日(金)に、妻沼地区の4施設(妻沼行政センター、道の駅、妻沼郵便局、JAくまがや妻沼西支店)を訪問し、熱中症予防ポケットティッシュとうちわの設置を依頼した。ポケットティッシュとうちわの配布を通して、熱中症予防及び妻沼西中学校の暑さ対策活動を地域へ発信することができた。特に、道の駅では、3日後にはポケットティッシュの配布が終了し、ポケットティッシュの追加を行うほど好評だった。昨年度の活動は妻沼行政センターのみであったが、今年度は4施設に増やし、より広く地域の方々へ熱中症予防の啓発をすることができた。</p> <div data-bbox="1185 1933 1485 2101">  </div>



妻沼行政センター



道の駅



妻沼郵便局

JA くまがや妻沼西支店



JA くまがやのホームページにて紹介していただきました！



(3) 3年生全員がポケットティッシュを持ち帰り、家族や親戚に配布

3年生全員が熱中症予防ポケットティッシュを持ち帰り、家族や親戚などに渡すことで、熱中症予防を呼びかける活動を実施した。3年生への説明は、各クラスの保健委員が行った。生徒は、地域への暑さ対策活動をとおして、熱中症予防への意識を高めることができた。



教室で配布中...

(4) 北門脇のフェンス外側に熱中症予防啓発の掲示物を掲示

フェンスの外側に熱中症予防の掲示を行った。保健委員が装飾した文字を1枚ずつ校地外から見えるように掲示し、地域へ熱中症予防の啓発を行った。



「水分・塩分の補給で熱中症予防！  
妻沼西中保健委員会」



(3) 2年生対象「『暑さ対策』地域へ発信！中学生サポーター事業」に係る心肺蘇生法実習の運営

心肺蘇生法の実習の運営を保健委員会2年生が行った。運営を行うことで、熱中症や救急処置等の対応に対して、より興味関心を持って取り組むことができた。



	<p>その他</p> <p>各部活動において、活動中に WBGT 値の測定・記録を行った。記録は生徒が行い、熱中症指数を意識しながら活動を行うことができた。</p> <p>【工夫点】</p> <p>熱中症予防ポケットティッシュとうちわの配布活動については、昨年度の活動の課題として、啓発活動の場所が妻沼行政センターの1か所のみにとどまってしまった点が挙げられていた。そこで、今年度は妻沼地区にある4か所の施設にご協力いただいて、より広く地域へ熱中症予防啓発を行うことにした。また、イラストとキャッチコピーの作成、貼り付け作業、施設の方へのお渡し等、全ての作業に保健委員3年生が携わるとともに、3年生全員がティッシュを持ち帰って家族や親戚に熱中症予防を呼びかけながら配布することで、保健委員だけでなく3年生全体で熱中症予防の地域発信を意識する機会とした。</p>
<p>3 今後の課題</p>	<p>妻沼地区の4施設に生徒が直接伺い、熱中症予防ポケットティッシュとうちわを手渡すことで、生徒たちは自ら熱中症を地域に発信していることを意識でき、生徒の達成感につなげることができたと感じる。今年度は、ポケットティッシュとうちわの配布場所を1か所から4か所に広げた結果、JAくまがやのホームページに掲載していただいたり、数日で配布が終わるほどの好評をいただいたりして、より多くの地域の方々に活動を認知していただく機会となった。</p> <p>来年度以降は、さらに多くの場所で設置・配布が可能か検討していくとともに、地域の施設での配布だけでなく、学校行事等の機会を活用した熱中症予防啓発活動を生徒と一緒に考えていきたい。</p>

審査基準は「独創性」、「波及・汎用性」、「持続性」、児童・生徒の「主体性」の4つ(工夫して記載して下さい。)

報告書の枠等は必要に応じて調整して下さい(無理に1枚に収める必要はありません。)